

第 22 回天体スペクトル研究会 プログラム案 20170228

3月4日(土)

12:30-13:00 受付

13:00-13:05 溝口小扶里実行委員長挨拶

13:05-13:10 事務局から

セッション 新星・赤外観測

13:10-13:25 ① 新星シエルの構造解析 (内藤 博之)

13:25-13:40 ② 巨大ブラックホールを周回する星の近赤外線高分散分光観測 (西山 正吾)

13:40-13:55 ③ 銀河系中心ブラックホール近傍の星の研究 (五林 遥)

13:55-14:10 ④ クェーサーB1422+231の近赤外線分光観測による微細構造定数の研究
(安達 璃奈)

14:10-14:25 ⑤ 近赤外線分光による変光星の解析 (福江 慧)

14:25-14:55 〈ポスター〉

(A) スペクトルを身近に (伊藤 芳春)

(B) 埼玉大学 SaCRA 望遠鏡を用いた分光観測体験 (平塚 雄一郎)

(C) 小型低分散分光器「光藝」を用いた試験観測の報告 (小倉 和幸)

セッション 超新星・ひとみ望遠鏡分光器

14:55-15:10 ⑥ 極超新星におけるヘリウムの発見 (山中 雅之)

15:10-15:25 ⑦ 低光度 IIP 型超新星 SN2016bkv の測光分光観測 (中岡 竜也)

15:25-15:40 ⑧ IIb/Ib 遷移超新星 SN 2016bau の可視近赤外観測 (河原 直貴)

15:40-15:55 ⑨ 特異な Ia 型超新星 SN 2014dt の長期に亘る可視近赤外観(II) (川端 美穂)

15:55-16:10 ⑩ ひとみ望遠鏡分光器の性能と運用例 (松下 真人、溝口 小扶里、岩崎 仁美)

16:10-16:25 ⑪ 仙台市天文台ナスミス式分光器の基本設計 (加藤賢一)

16:25-16:50 〈ポスター〉

16:50-17:30 招待講演 (トワイライトサロン) 佐藤文衛氏「太陽系外惑星探索」

天文台内見学 (プラネタリウム or 観望会) 18:30 まで

懇親会 19:00-21:00

宿舎移動

3月5日(日)

セッション 早期型星・フレア星

9:10-9:25 ⑫ アーカイブデータを用いた B 型星の近紫外域化学組成比解析 (西村 昌能)

9:25-9:40 ⑬ 早期 B 型星に弱い輝線を発見 (定金 晃三)

9:40-9:55 ⑭ 貴金属に富む磁気特異星 HD94660 (加藤 賢一)

9:55-10:10 ⑮ A 型主系列星 KIC11145123 の分光解析 (比田井 昌英)

10:10-10:25 ⑯ 西はりま天文台でのフレア星連続分光観測 (本田 敏志)

10:25-10:40 ⑰ 高い磁気活動を示す近傍の太陽型星の高分散分光観測 (野津 湧太)

10:40-10:55 ⑱ 観測の全自動化に向けた HIDES-F 用キューモード観測環境の構築
(前原 裕之)

10:55-11:10 〈ポスター〉

セッション 変動天体・教育・普及

11:10-11:25 ⑲ FU Ori 型星 V960Mon の分光モニター観測 (高木 悠平)

- 11：25-11：40 ㉔ β Lyr の高分散分光観測による双極アウトフローの幾何と速度場の解明
(新中 善晴)
- 11：40-11：55 ㉕ 接眼分光器を用いた天体物理学入門 (橋本 修)
- 11：55-12：10 ㉖ 自作分光器による太陽観測 (Ⅲ) ～アトラスと CaIIK ヘリオグラム～
(坂江 隆志)
- 12：10-12：25 ㉗ 高校「課題研究」における、天体スペクトルの研究事例 (石田 光宏)
- 12：25-12：40 ㉘ 日食撮影機材検討用簡易分光器の制作 (塩田 和生)

閉会挨拶 事務局から

以下、変更と追加があります。

※1 口頭発表は12分の口演と3分の質疑で15分間となります。

※2 会場にはPC (Windows7) がありますのでお使い頂けます。

プロジェクターはHDMIでPCと接続できます。

※3 Wi-Fi 環境が整っています。

※4 懇親会を申し込まれた方は一般4000円、学生2000円をご用意ください。会場で頂きます。

※5 宿泊代金は一泊朝食付き(税込)で10518円ですが、バス移動の代金を含めて11000円を宿舎で頂き、差額は茶菓子代に当てたいと思っています。懇親会代・宿泊代とも現地でお支払いください。おつりの無いようご用意をお願いいたします。

※6 初日の招待講演は仙台市天文台のトワイライトサロンを兼ねていますので、一般の方々が多数参加されますので、ご承知おきください。

※7 発表者(ポスター発表含む)は、集録原稿をご用意ください。パワーポイント原稿でも構いません。発表終了後担当者が頂きに参ります。

※8 会場に茶菓子の用意をします。宿泊を申し込まれていない方はお一人100円から200円程度、カンパをお願いいたします。

○ 天文台・プラネタリウムの見学について

4日17：40からは、ひとみ望遠鏡での金星などの観望や分光器の見学ができます。

また、17：40のプラネタリウムもご覧いただくことができます。「星空とともに」という東日本大震災をテーマにした投映となっていて、無料でご覧いただけます。

展示室は17時までで閉まってしまいますが、4日のみのご参加の方でも発表の合間に展示室に入らせていただくことは可能です。

5日は終了時刻直後の13：00のプラネタリウムと展示室(閉館の17：00まで)を無料でご覧いただくことができます。プラネタリウムは、満席でなければ14：30、16：00の回でも可能です。

望遠鏡見学も一般向けで14：00、15：30とありますので、5日のみの参加の方でも望遠鏡を見学していただくことができます。会場で詳しく説明いたします。

○ 移動について

天文台→懇親会会場 : 送迎バス(無料)

懇親会会場→華乃湯 : 送迎バス(無料)

華乃湯→天文台 : 送迎バス(有料) ← 頭割りで、お1人400円弱程度

○ 昼食について

天文台には、昼食が取れるカフェやレストランはありません。

持参したお弁当などを食べていただけるスペースと、焼きおにぎりや焼きそば、ホットドックなどの冷凍食品の自動販売機がございます。

天文台の近くには、コンビニのミニストップとセブンイレブンがあります。

飲食店ということであれば、徒歩 15 分くらいでヒルサイドモールがあり、こちらには、伊達の牛タン、たまご舎（オムライスなど）、ソースカツ丼（うどんやそばもあり）、イタリアン、タイ・ベトナム料理のレストランがあります。

詳しくはこちら → <http://hillside-mall.com/restaurant>

愛子駅周辺には、おにぎり屋さんの川井亭や懇親会会場の角屋さん、マクドナルドなどあります。ご迷惑をお掛けしますが、よろしく願いいたします。

■天文台までの交通機関

仙台駅からはバスのご利用がおすすめです。

○仙台西部ライナー（楽にまっすぐ天文台に来たい方におすすめ）

- ・天文台まで直行します
- ・駐車場の中までバスが入って降ろしてくれるので徒歩 1 分で玄関に入れます
- ・運賃 670 円
- ・時刻表はこちら → <http://www.takeyakoutu.jp/sendaiseiburaina.html>

○愛子観光バス（ヒルサイドモールでご飯を食べたい方や愛子駅まで電車で来る方におすすめ）

- ・天文台の最寄りの愛子駅や食事処があるヒルサイドモール前にも止まります
- ・ミニストップ前のバス停に止まるので、天文台まで徒歩 5 分くらいです
- ・運賃 620 円
- ・時刻表はこちら → <http://www.ayashikanko.com/timetable.html#p1>

最寄りの愛子駅からは徒歩 30 分くらいかかりますが、タクシーも停車しています。何人かで乗車すればさほど料金もかかりません。

詳しくはこちらをご覧ください → <http://www.sendai-astro.jp/info/access.html>